

ひと彩たま

創業111年を超えた埼玉
県飯能市の老舗料亭「清河園」
が、若年層の開拓にかじを切
った。ヨガと食事のタイアッ
プイベントなど様々な趣向を
繰り広げる。けん引するのは
大野屋清河園3代目の増岡利
和社長と娘の美伎さんだ。親
子タッグで次の100年を切
り開く。

清河園は西武池袋線飯能駅
から徒歩8分の住宅街の中に
位置する。名栗川のほとりに
立つ落ち着いたたたずまいの
料亭だ。ガラス張りの窓から
は桜や紅葉など四季折々の自
然を眺めることができる。宴
会や接待に使われてきた地域
を代表する日本料理店だ。

いま、この老舗料亭の門を
くぐる若者が増えている。S
NSでの「映え」や体験を重
視する「コト消費」を意識し
たイベントへの参加が目的
だ。3月末には桜をライトア
ップし、夜桜を見ながら食事

味なイベント 若者つかむ

飯能の老舗料亭「清河園」

増岡 利和さん、美伎さん



美伎さんと増岡社長

を楽しむプランを実施。4月
には落ち着いた和室でヨガを
体験するイベントを開き、女
性らが満員となった。

こうしたイベントは美伎さ
んのアイデアだ。「新しい顧
客を開拓するにはツールが必
要だ」と考え、老舗の敷居を
考慮し、若者が来店しやすい
仕掛け作りに知恵を絞る。

夜桜と食事を楽しむ「桜フ
ェス」は飲み物がついて35
00円と、比較的低い価格で
提供した。「女性ならではの
目線を大事にしている」と美
伎さん。季節ごとに異なるメ
ニューを用意し、イベントの
様子を記録した動画はインス
タグラムを通じて配信する。

(浅野夏樹)